

東日本大震災 名取市支援活動報告

支援活動は「前半の班(4/11~20)」から「後半の班(4/22~5/1)」にバトンタッチします。その間、少しだけ近況報告します。

「被害の大きかった閑上小、閑上中が始業式」

不二が丘小学校の校舎を使用して再開

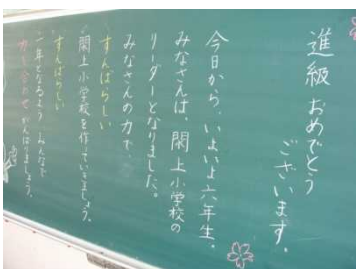
閑上小学校、閑上中学校は、被害が大きく使用できないため、不二が丘小学校の校舎を使用して新学期を迎えました。

不二が丘小学校は、過去に千人を超える児童数がある大規模校でしたが、現在は400名程度まで減少し、校舎に余裕があるようです。

校舎を案内されると、既存の不二が丘小学校の先生や児童は、新たな仲間達のために、また、閑上小、中学校の先生は自校の子供たちのために、精いっぱいのお気持ちを込めてお迎えようとしていることが伝わってきました。



仲間を迎え入れる不二が丘小



心を込めてお迎え

名取市図書館が「閑上小・中」に団体貸出をします！

～ 石狩市の「ブックンボックス」ケースが 貸出のお手伝い ～

名取市の全小中学校の学校図書館には、正職員の司書が配置されている環境にあります。もちろん、引っ越してきた閑上小・中には司書が配置されていますが、図書室はなく階段の踊り場を活用したり、本の数も十分ではありません。



踊り場を利用した図書室

そこで、名取市図書館は、学校への支援として、閑上小、閑上中の合わせて15学級の全てに団体貸出(学級単位で40冊程度のセットをつくる)を行なうことにしました。

この名取市図書館の取組に、石狩市では「ブックンボックス」という



閑上中の校長先生(左)司書(右)も喜んでくれました

名称で同じような取組をしていることから、石狩市民図書館で使っているケースを寄贈し、使っていただくことにしました。

このケースは、後半の班(4/22夜到着)が持参します。

「名取市図書館が 始動の準備」

～ GW明けをめどに 「まずは、できることから」 ～



建物には、一般の方は未だ入ることはできません。具体的な解決策を見出すには、一定の時間を要するものと考えられます。

職員も避難所や罹災証明の事務などにも従事していることから、通常のサービスができる体制ではありませんが、何かできることを考え行動するとのことでした。

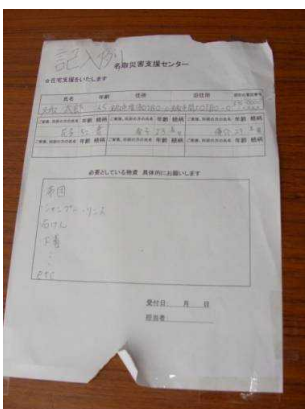
建物の外での貸出、返却の作業にならざるを得ない状況で、冊数や取り扱いができる時間なども制限が予想されるなど、十分な環境ではありませんが、できることから始めようという考えに、敬意を表するとともに、できる限りの応援をしたいと思います。

名取市図書館職員の皆さんからは、「石狩市の応援があり、早期の対応が可能となりました。こんなに早く行動できるまでに、多くの支援と元気をもらいました。」と感謝の言葉をいただきました。恐縮です。そして、感無量です。

「改めて市役所を訪問しました」



今でも、不明者を探している人、罹災の関係の手続きをしてしている方など混雑しています。現実には、あまりにも生々しいものです



避難所で生活している方々も厳しい毎日をお過ごしされています。

また、被害を受けても、自宅で頑張っている方もいらっしゃると思いますが、そんな方へ、必要な物資を支援する取組が行われていました。